

平成 28 年 3 月 31 日

商 工 中 金

木材加工流通施設を整備して会津産木材の利用促進に取り組む 会津木材協同組合を金融面からサポート！

商工中金は、政府の「林業の成長産業化」に向けた取組みに呼応し、国産材の流通拡大に取り組む製材業者等の事業活動を積極的にサポートすることを通じて、林業の成長産業化と地域経済の活性化に貢献しています。

商工中金（福島支店）は、会津木材協同組合（本社：福島県会津若松市、代表者：長谷川 直也氏）に対して、福島県が推進する県産材の活用促進に呼応して、木材加工流通施設の整備等に必要な資金の一部として7千6百万円を融資しました。

会津木材協同組合は、会津産木材の利用促進を目的に、会津若松市、北会津郡、河沼郡の製材業者13社が集まって昭和38年に設立されました。

今回、同組合は、高性能の木材加工機械を導入して、立木から丸太を製造する素材生産事業を開始し、会津産木材の取扱量を増やすとともに、貯木場の整備により流通コストを削減して競争力を向上させる内容の事業計画を策定しました。本事業は、林野庁の「森林整備加速化・林業再生基金事業」に採択されています。

商工中金は、同組合の取組みを、地域経済の活性化に貢献するものと高く評価し、必要資金の一部を融資しました。

商工中金は、公的金融機関で唯一のフルバンキング機能を有する機関として、地方公共団体や地域金融機関等と連携しながら、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【会津木材協同組合の概要】

所在地	福島県会津若松市神指町大字南四合 字幕内西 351-3	出資金	13万円
代表者	長谷川 直也	組合員数	13名（平成28年3月現在）
業種	木材加工・販売業	設立	昭和38年2月